

## 令和 8 年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	国際臨海実習「Functional Morphology and Evolutionary Biology of Marine Invertebrates」		
実習内容	<p>海産無脊椎動物で特に多様に進化した分類群について解剖およびスケッチを行い、各分類群の形態的特徴を理解し、その特徴と生態・系統との関連を考えることを目的とする（和英併用）。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 軟体動物腹足類の比較解剖：岩礁潮間帯にて様々な形態・食性をもつ腹足類を採集し、殻と内臓を観察する。特に歯舌の形態は生物顕微鏡を使って詳細に観察し、食性ごとの特徴を理解する。</li> <li>2. 節足動物甲殻類の比較解剖：岩礁潮間帯に生息する蔓脚類(フジツボ)・等脚類(フナムシ)等の体節や付属肢(脚)の形態に着目し、分類群ごとで脚がどのように利用され進化してきたかを考える。</li> <li>3. 環形動物の比較解剖：岩礁潮間帯で付着生活を行う多毛類を採集する。環形動物特有の体節の繰り返し構造、付属肢(疣足)、内部構造を観察するとともに、形態と生活様式の関連を考える。</li> <li>4. 棘皮動物の比較解剖：番所崎の潮間帯に生息するウニ・ナマコ類の生態および殻形態や内臓を観察し、棘皮動物の基本体制である五放射相性の特徴を理解し進化の道筋を考える。</li> <li>5. 刺胞動物の比較解剖：自由生活性の刺胞動物において、底生性のイソギンチャクと浮遊性のクラゲの体制(刺胞含む)を比較し、形態と生活様式の関連を考える。</li> </ol>		
実習内容キーワード	分類、生態、形態、解剖、軟体動物、節足動物、環形動物、棘皮動物、刺胞動物		
担当教員氏名・所属・役職名	下村通誉(教授)・中野智之(准教授)・河村真理子(講師)・後藤龍太郎(助教)・山守瑠奈(助教)		
協力教員氏名・所属・役職名	なし		
対象学生・学年	1 回生以上の学部生(院生も可)	開講期間	2026 年 8 月 6 日～11 日
開講大学・施設名	京都大学フィールド科学教育研究センター 瀬戸臨海実験所		
施設の住所	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459		
電話	0739-42-3515	F a x	0739-42-4518
e-mail	goto.ryutaro.8n@kyoto-u.ac.jp	Web Site	https://www.seto.kyoto-u.ac.jp
交通案内	<p>①鉄道：新大阪・大阪・天王寺方面から JR 紀勢本線「白浜駅」下車。明光バスに乗り換え「臨海」下車すぐ、あるいは明光バス「白浜バスセンター」下車。</p> <p>②東京・大阪から、白浜までの高速バスあり。(「明光バス」ホームページ参照)</p>		
費用	滞在費(宿泊費・昼夕食費)：約 13,500 円(交通費は別途、朝食は各自用意)		
授業科目名	国際臨海実習「Functional Morphology and Evolutionary Biology of Marine Invertebrates」		
単位数	2 単位相当 (受講証明発行)	定員数	10 名
授業料の徴収について	なし		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	なるべく所属が重ならないよう配慮します。学部生を優先します。 申込締切：2026 年 6 月 26 日(金)		
選抜結果連絡法	本人・指導教員には e-mail で連絡、教務掛に許可証を郵送します。		